



信濃おおまち
みずのわ
プロジェクト
MIZUNOWA PROJECT
OMACHI, NAGANO, JAPAN

信濃おおまち みずのわプロジェクト 『みずの音ナビ』

～長野県大町市の「水」への強い思いを GIS で具現化したい～

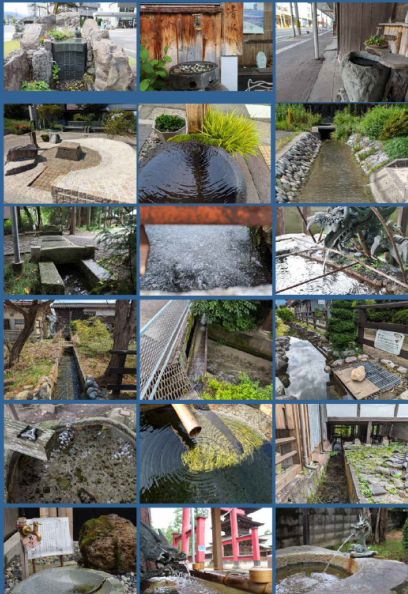
いであ株式会社 企画・開発 智恵

SDGs 未来都市選定を機に「水が生まれる信濃おおまち」とSDGsの取り組みを積極的に推進している企業を中心となり、北アルプス山麓を起点に、豊かな「水」と育んできた暮らし・風土・文化を学び、自然と人とのやさしいコミュニティを育むことで、市民の皆さんと共に100年先を見据えた「まち・ひと・しごとづくり」を実現しサステナブルなモデルタウンを目指します。

<マネジメントパートナー>

大町市、サントリー、八十二銀行、
大町商工会議所、JTB、市教育委員会

大町市の豊かな水スポット



写真提供：信濃おおまち みずのわプロジェクト

地図アプリと連動するスタンプラリー企画

北アルプス国際芸術祭 2024 期間中限定
(2024.9.13 ~ 2024.11.4)



スタンプラリー案内



スタンプラリー案内

スタンプラリーアプリケーション：palanAR ラー

発注者・資料協力：信濃おおまち みずのわプロジェクト（長野県大町市）

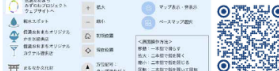
受託・開発者：いであ株式会社



みずの音ナビ (2D)

みずの音ナビの「みずの音(ね)」
大町市内には古くから多くの堰（水路）があります。
北アルプスからの恵みの水は、人々の生活に密着し、
いたるところで心地よい「みずの音」を響かせます。

<凡例> (水スポット等は拡大すると表示)

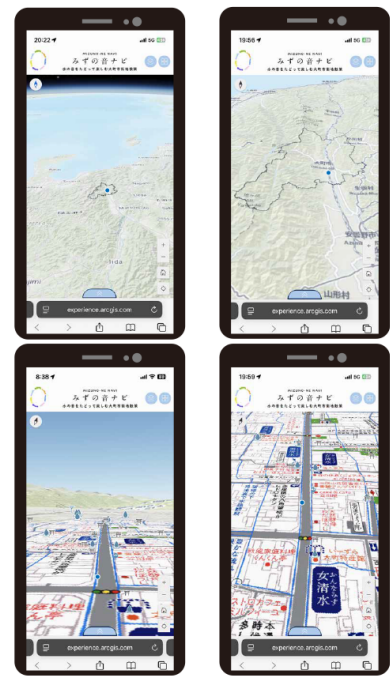


地図アプリ連動するWebARを利用した「水スポット」の紹介



⑦「大町市キャラクターおまじよん」は、北アルプス山麓の自然をテーマに、あたまの山は大町市を象徴する北アルプス、大町市の響きで「おまじよん」をイメージしています。

WebAR アプリケーション：palanAR



みずの音ナビ (3D) (大町市・水スポットの位置)



開発方針・内容

方針
当社の業務を通して培ってきた
・良好な水循環・水環境の創出活動の取組推進の知見
・多くの環境マップを作成してきた経験を活かして、
「大町市の水の魅力を内外に伝えたい」という大町市担当者の強い思いを具現化する

開発期間・内容

開発期間 2 か月
①「みずの音マップ」(紙)の作成補助(水路、道路)
②「みずの音ナビ」2Dの開発
③「みずの音ナビ」3Dの開発
④WebARを使った水スポット紹介アプリの作成
⑤Web 上でのスタンプラリーアプリの作成
②③：自社開発 (ArcGIS Experience Builder)
④⑤デザイン・テスト：自社 (palanAR ほか)

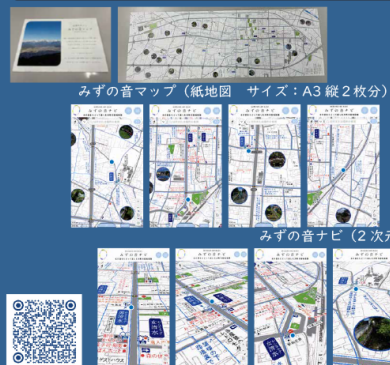
開発期間 2 か月を可能にした要因

・ArcGIS Online (いつでも みんなが使える GIS)
・ArcGIS Experience Builder (ノーコードで開発)
・ESRI ジャパン担当営業、サポートの明確な回答

紙地図→

デジタル化→3 次元表示のねらい

・Web アプリで誰でも簡単に利用
・紙地図「みずの音マップ」の良さを活かす
・地形データを使った紙地図の立体化
・GPS 連動で紙地図の上を歩くように利用



1「みずの音ナビ」いますぐ体験

みずの音ナビ (3次元)

いであ株式会社 2025年5月